

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和7年度第2回西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会
開催日時	令和7年8月26日(火) 午前10時～12時
開催場所	市役所 大会議室
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	瀧川光治、鈴木正敏、松尾寛子、蘆田圭、上井千里
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	—
出席職員の職・氏名又は人数	教育長 遠藤一博 教育創造部長 足立英則 学校教育課学校教育担当主幹 兼 教育研究室長 山田恵子 幼保連携課長 上田歌織 幼児教育センター長 橋本恭代 幼保連携課（幼児教育センター）小林木綿子 幼保連携課（幼児教育センター）西村麻衣子 幼保連携課（幼児教育センター）前田玲佳
公開・非公開の別	非公開
非公開の理由	個人情報に配慮するため
協議又は協議事項	(1) 第1回視察訪問について(報告) (2) 今年度事業の評価報告について (3) その他
会議の記録（概要）	
発言者	内 容
事務局	1 開会 委嘱状交付
教育長	2 あいさつ
事務局	(資料確認) ここからの進行は、委員長にお願いする。
委員長	3 第1回視察訪問について（報告）

事務局	<p>事務局説明</p> <p>資料1 「各園の今年度目標・特色等（まとめ）」</p> <p>資料2 「令和7年度西脇市就学前教育推進事業第1回視察訪問の様子」</p>
各委員	<p><b>【園①保育】</b></p> <p>少しずつ良くなっている印象。1歳児で毎年同じような質問があるので、園の中でマニュアルや手引きがあると良いのではないかと話した。「自園ではこういうやり方でやっていこう」という最低限のものを作成し、誰が見ても同じようにできるようにすると良いのではないかと伝えた。</p> <p>4歳児では、言葉の発達面で個人差が大きいという悩みがあった。これまでの子どもたちの園内や家庭での言葉の環境が大きく違っているということと、5歳の言語力と4歳になりたての言語力は違って当たり前だということを伝えた。また、ままごと遊びでは、園によって手作りの玩具が置いてあるケースとプラスチック製のミニチュアの玩具が置いてあるケースがあるが、こちらの園はミニチュアの玩具がたくさん置いてあった。「見立てられる物」がもう少しあった方が良いということと、4歳は発想が豊かに広がってくる時期なので、発想が広がるような素材などをもっと置くと良いとアドバイスした。</p> <p>5歳児は、園小接続を考えた時に、先生が自分の保育をうまく言語化できるかどうか大切だと伝えた。その遊びを通して、子どもたちのどんなところが育ってきているかを言語化できるように意識していくと良いとお伝えした。「皆で同じことを同じようにする」という意識が根強くある園なので、もう少し個別最適化という視点から考え、子どもの興味の差に応じた遊び、先生が経験させてあげたいと思っていることを、環境を工夫しながらやっていかれたらどうかと話した。</p> <p><b>【特支全体について】</b></p> <p>まず全園に共通するところを先にお伝えする。どの園からも「理解」という言葉が多く相談内容に上がってきた。「指示理解」が難しいということが、先生方の気付きとしての第一歩なのかなと思った。こちらがお伝えしたことは主に4点。1点目は「発達段階について」2点目は「特性について」3点目は「集団について」4点目</p>

は「運動遊びについて」です。

#### 【園①特支】

気持ちの良い環境だと思った。部屋が整っていて余計な刺激が少ないと思った。どの園でも、部屋を多目的に使われることが多いが、用途が変わると子どもたちには分かりにくいことがある。仕方ないこともあるが、自閉症の子に対する配慮が他児にも有効であり「見える化」することが分かりやすい手立てになっていると思った。

#### 【園②保育】

全体的に落ち着いて活動できていた。

0歳児ではたくさん手作り玩具があり、子どもたちが興味をもって遊んでいた。今ある玩具に加えて、つまんだり引っ張ったり、回したりする物をもう少し用意すると良いのではと伝えた。

1歳児はサンルームやウッドデッキを活用しようとしており、工夫して遊べるようにされていた。有孔ボードに仕掛けを付け、引っ張ったり、つまんだり、ボタンをはめたりしていくと面白いのではという話をしたので、次回の訪問でどうなっているか楽しみ。

2歳児は、穏やかに遊んでおり、個別に応じて援助できていたが、自由遊びで落ち着いて遊ぶような環境があれば良いと思い、動きがある遊びのコーナーとじっくり遊ぶコーナーを両方作ったらどうかと伝えた。

3歳児は、いろいろと環境を工夫されていた。「自然に触れる機会をつくりたいけど園外が危険」という悩みがあったので、車が少ない時間帯に少人数で園外に出てみると良いのではと伝えた。一定の興味関心のある子を集めて少人数で出かけるようにすると行動の幅が広がるのではないかと思う。

4歳児は、集団性がでてきておりカプラ等何人かで、かたまってうまく遊んでいた。絵本の環境は興味関心に合わせて、テーマに沿って作られていた。振り返りが続かないようだったので、視覚的に分かるよう写真や具体物を見せて話ができるようにすると良いと伝えた。最終的に10～15分くらい振り返りができれば良いと思う。

5歳児は、人数が多いが担任の先生が頑張っておられ、「自分で考えて」や、「グループで発表して」というところを意識されている。「協同的に活動する」ということがしっかりとできていた。

### 【園②特支】

全体的にどのクラスも伸び伸びとしていた。心理士や作業療法士にも来てもらっているとのことだったので、いろいろな専門の方に見てもらうことは良いことだと思った。また困っている子への手立てとして配慮されていることが他の子の配慮にもつながると良いとお伝えした。

「トラブルについて」質問があったが、そのトラブルの基について話をした。また「失敗が怖い子」については遊びの中で、うまくいかなくても何度でもやり直しができるものが学びになると話した。

### 【園③保育】

こちらの園は手作りの物がかなり多く準備されている。ただ、遊び方がどんなふうに進んでいくのかという「遊びの発達」について、もう少し理解が進むと良いと思った。1歳児の先生が「ままごとコーナーを充実させるにはどうすれば」という質問をされたが今の時期は、料理を作る工程ではなくまねっこをして遊ぶことが多い時期なので、「レンジでチンする」など保護者がやっている行為をそのまま、まねるような遊びの環境があると良いと伝えた。

どの園でも子どもの人間関係の発達ということを大事にされている。関わり合いや、子ども同士の伝え合い等。そんな中で、3歳児の先生から、「トラブルが起きた時、相手の気持ちに気付くような導き方を知りたい」という質問があった。本来の意味で相手の気持ちに気付くということを考えて、相手の表情を見る、そして相手の言葉にならない思いを推測する力が必要になってくる。しかしまだ3歳の時期はそこが難しい段階ですので、3歳児は十分「意思疎通して遊んでいる」というわけではなく、「今思いついたこと」でつながっているのが焦らなくて良いということをお話した。

4歳児の先生は集団の中で自分の思いを伝えられるようにするにはどうしたら良いかと悩まれていた。小学校では発問という形で、先生が子どもたちに投げかけ、そこで対話を促されているが、幼児期の場合は先生方が「発問」という意識が十分ではないように思った。そこで、何を目的として子どもたちに話し合ってもらいたいのかを明確にして言葉を投げかけることが大事だという話をした。単語レベルでよいので話す機会を増やすことや、個人差が大きいので、意図的に話をする機会を設けてもよいと話した。

5歳児はバーベキューごっこをしていた。小学校であれば、教科書があるので共通のイメージをもちやすいが、幼児期の遊びは教科書がないので、共通のイメージをもつためには手立てが必要になってくる。そういう時に、絵本などを活用したらどうかと話した。アイデアが豊かではない子はどうしても置いてけぼりになってしまう。言語力の発達が共通イメージの土台になっていくので絵本を大事にしてほしいと伝えた。

#### 【園③特支】

全体としては、「子どもは集団の中で育つ」「周りの子どもたちが、支援者になります」ということを話した。それは園ができてないという意味ではなくて、そうされていたからお伝えした。また体づくり、運動遊びを継続してしっかりしてくださいということも伝えた。

発語、コミュニケーションの相談があったが「指差しが出ているか」「視線がどうか」というようなノンバーバルな部分も見られたらと良いと伝えた。また気持ちのコントロールが難しいという話もよく出るが、体のコントロールができてから、気持ちのコントロールができるようになると思うので、運動遊びが大事だと伝えた。またトイレについての困り感の話をお聞きしたので、安心してトイレを使うことができるようになるための1つの支援方法を伝えた。

#### 【園④保育】

インスタグラム等でいろいろと情報が入手できる状況になってきているので、手作りの玩具もいろいろと作っておられた。

0,1歳児クラスは、手先を使う玩具をもう少し充実させても良いと思ったが、子どもたちのことをよく理解し、「こんな玩具がいるかも」というところまでは想像できていると思った。インスタ等を参考にしながら、手作り玩具を作っていくことも有効だと伝えた。部屋のゾーン分けをうまくされており遊びやすいので、子どもたちはすごく過ごしやすいのではないかと思った。

2歳児クラスはすごく広い部屋になっていたが、「参観日までは広く使いたい。参加日が終わったらコーナーを作っていきたい」という先生の意図があった。それを尊重しながら、手作り玩具の提案や、マグネット遊びなどを取り入れてみるのも良いかもしれないと話した。

3歳児クラスでは、手作りのフランクフルトをコップの中に刺して遊んでいた。子どもたちがイメージしやすく、ひと工夫できるよう、「子どもが何をしたいのか」を先生が読み取っていくことが大切だと話した。

4歳児クラスはコーナーの使い方が上手。先生方も楽しんでコーナーを作っておられた。手作りでガチャガチャのような玩具も作られていて、とても面白いクラスだと思った。

5歳児クラスは実験中だった。卵パックの上にペットボトルをどのように乗せたら、卵が割れずにすむかということのを皆で考えていた。このクラスは自分の意見が通らない時や、悔しい時に物に当たる子がいると言われていた。思い通りにいかずに腹が立つ、悔しいという「気持ちは大事だよ。次また頑張ろう」とフォローしていかれたらどうかと伝えた。口調がきつい子に対しても「言い方、言い方。言っていることは間違っていないんだよ」というメッセージを込めて伝えていかれると良いのではと話した。

#### 【園④特支】

全体としては、水、土、泥、砂、棒、紐、穴等、子どもたちの好きな物があって、支援の必要な子も一緒に参加できるので良いと思った。トラブルについての話もあったが、先生方がうまく仲介され解消されていたと思う。トラブルも学びになっているので、良いと思った。

機嫌を損ねすねて、なかなか動けない時の対応について相談を受けた。先生方はその子のことを理解し、無理に参加させることはせずに、時々声かけに行かれ他児の様子を伝えられていた。先生の働きかけで友達が誘いに行く場面もあり、良いと思った。

#### 【園⑤保育】

質がとても向上していると感じた。

0,1歳児は手作り玩具がたくさんあった。ただ、もうひと工夫あれば良いと思ったところもあった。例えば棚の上に道路を作って、登らないようにしたり、スライダー式の玩具を作って、拾いに行く仕掛けを作ることによって運動量を増やしたり、身体の発達のために、高さを使った仕掛けを作ったりすると良いことを伝えた。また、今ある牛乳パックの枠は、ついたてにしたり、ハイハイをしてくぐって遊んだり、枠を2つ重ねて折り畳み1人で中に入ることが

できる玩具になることを伝えた。

2歳児のお医者さんごっこでは、お医者さん役になりたい子が多いので、患者役の子が増えるような工夫が必要。子どもたちが普段経験しているような診察券を作ったり、マイナンバーカードの顔認証をする機械を作ったり、お薬を用意したりする等、日常生活の中で子どもたちがどのような経験をしているのか考え、物を用意すると、お医者さん役だけではなく患者役もやりたくなるのではと話した。

3歳児保育室の収納棚の下部分は、かくれんぼをしたり、絵本を読んだりできるような隠れ家のような場所になるので、この場所の活用を勧めた。また、玩具を収納棚に全て収納せず、出したままのところもあって良いと話した。

4歳児は、小麦粉粘土にほうれん草やにんじんで色をつけて団子を作ったり、焼いてみたりという経験をしていた。これからクッキングへつながっていくと聞き、5歳児の活動も含めて活動の最終目標に「販売する」のはどうかと提案した。販売するために、ラッピングを考えたり、次に作るものを考えたりという「意欲」が湧いてくると思う。地域とのつながりが強い園なので、地域の力も借りて、取り組まれることを勧めた。

#### 【園⑤特支】

色水遊び、小麦粉粘土の遊びがとても楽しくて良いと思った。これらの遊びの中では気になる子たち、特性のある子たちの困り感が気になる場面はなかった。「皆が参加できる活動は何か」と考えることはすごく大事だと感じた。個別に取り出すだけが特別支援教育ではないので、参加できる活動は何かと考えるところが大事だと思った。

力加減が難しい子がいるということだったが、運動遊びの中で体をしっかり使って、遊ぶ、学ぶということが大事だと伝えた。

#### 【園⑥保育】

とても熱心で、自園でも研修をしっかりとされている。

0歳児はサーキット遊びをされていた。体作りを大事にされていて、段差の登り降り等をされていた。その中で体のバランスや筋肉などが育ってくると話した。

1歳児では、活動的な子と、まだ歩けない子の活動の差があり悩

まれていた。1歳児になったばかりの子と、2歳になっている子が混在しているため、身体面、情緒面、言語面の発達も違うので二極化している。丁寧に関わる必要があると話した。また、「ままごとなどで取り合いになってしまう」という相談があり、棚に置く時は両側から取れるようにしたり、籠に入れたお一人様セットを作ったりして、一人一人が満足できるような環境にすると良いと話した。

2歳児は徐々に群れて、友だちと一緒にのこをすということ、が、楽しくなってくる時期でもある。言葉でやりとりをして、貸し借りをしながら遊ぶ想定ではなく、同じことを真似て遊ぶ感覚で良いと伝えた。

3歳児は、サーキット遊びをしていた。「サーキット遊びで何度も回っていると、徐々に飽きてくる。継続するための環境づくりを知りたい」という相談だった。難しいコースを次々と作ることが良いのではない。サーキット遊びは、1周することが大事なのではなく、いろいろな体の動きができるようにすることが大切。その観点から考えると、保育室では狭いので、ホールや遊戯室を使い、それぞれがやりたい動きのできる所へ行き、満足するまで、繰り返してできるように考えると良い。

4歳児はお弁当の絵本からピクニックごっこに発展し、継続性のある保育をされていた。魚釣りごっこバーベキューごっこが別々ではなく、釣った魚を焼いて食べるバーベキューという風に展開されていた。「言葉のやりとりを促すために仲介しているが、難しい」という相談だったので、小グループで話をする機会をたくさん作ることを提案した。また、モデルケースとして先駆的に取り組んでもらえたら良いと考え「子ども会議」を提案した。

5歳児では、2クラスとも子どもたちが話し合い、対話をする機会をたくさん設けていた。発問という視点から考えた時に、「子どもに対してどんな投げかけをしていくと、どういうふうに子どもたちの話し合いが進んでいくのか」ということを意識されると良いと伝えた。夏祭りに向けての話し合いについては「夏祭りで育てたいことは何か、また10の姿で意味付けるとどこが大事か」と投げかけると、先生方は「協同性」と答えられた。協同性を育てるという点では、共通目的のイメージの実現に向けてアイデア出しや、思いついたことや子ども同士で考えたことを、伝え合う機会をもつと良いことを伝えた。そして、ボードに情報や絵を貼ることで共通のイメージを持ちやすくなると伝えた。先駆的でチャレンジをされる園だ

と思うので、新たなことを伝えた。

#### 【園⑥特支】

5歳児の保育室に、紙コップと小さな板がたくさんあり、自由に積んで遊ぶ中で、友達と同じものができ上がっていくという面白い活動だと思った。正解や完成がない遊びは良いと思った。

外国籍の子に対しては、園ではサポーターという形で通訳の方に来てもらって、懇談などの場面で生かされていると聞き、良いと思った。また、偏食や食べ方については、国籍の違いによる文化、生活様式の違いが影響しているかもしれないと伝えた。

サーキットで体を動かすのは、とても良いと思った。しっかり動いた後で座る活動があるというようなメリハリが大事だと話した。

#### 【園⑦保育】

0歳児は環境について質問があったので、市外他園の手作り玩具などの環境を、写真で見せた。他にも、私が作りかけている玩具を持参した。先生方は手作り玩具を作ろうとされているが何をどのようにすれば良いか、悩まれていた。あと1歩というところだったので、写真を見せると「作ってみたい」とアイデアを取り入れようとしていた。忙しく時間がないことも分かっているが、他園で作っていることが刺激となり、自分たちもできるかもしれないと思えたのではと思った。0歳児の保育室は、ダンボールで作ったトンネルスペースがあり、非常に工夫されていたので、後期の訪問時には手作り玩具がもっと増えていると期待ができるクラスだった。

1歳児も同じように写真を見せた。今後玩具を作られて遊びが広がっていくと期待をしている。1歳児クラスなので、手首を動かす玩具が良いことや、遊びたくなる環境になるように「同じ色のペットボトルのキャップを味つけノリが入っているような入れ物の中に、同じ色ばかりを入れておくと、子どもたちが興味をもって手に取りやすくなる」というような、ヒントも伝えた。

2歳児は、保育室が狭いので、廊下に体を動かすスペースを作ることを提案した。

3歳児は制作をしていたが、紙をちぎることが難しいという子が何人かいた。指先に力を入れつまんで破らないといけませんが、それができない子がいたので、いろいろな遊びの中で経験をさせることが必要だと思った。指先を使った遊びは0歳から必要だと思ったの

で、つまむ遊びを入れていくことを伝えた。基本的な生活習慣が身につくにくい子がいるという相談があった。「こうすればうまくいく」というワンポイントアドバイスを保護者にしていけることも必要だと伝えた。

4歳児は、先生の話術が上手で、全員が集中して同じ方向を向き、5歳児のような聞き方をしていたので素晴らしいと思った。

5歳児は、先生が子どもたちの意見を上手に吸い上げながら、課題解決のための話し合いをしていた。

クラスの中に言葉がきつい子がいるという話があり、「〇〇ちゃんデー」を提案した。「今日は〇〇ちゃんの日よ」という日で、先生から多面的に褒め、その子の良さを伝えることで先生との信頼関係が築かれ、友達の良いところを見つけようとするようになり、また、自分のことを先生が見てくれているという肯定感が育つようになるという良い循環が生まれてくるのだと話をした。

#### 【園⑦特支】

どのクラスも落ち着いているという印象を受けた。先生方の感度も高いと感じた。

最近、自動洗浄のトイレが苦手な子もいる。自分で操作できる方が安心ということもあると思うので、自分で流す経験も、いつかできたら良いと伝えた。

偏食の子については「食べる」ということは主体的で本人にしかできないことなので、大人の無言のプレッシャーがあると、かえって食べられないということもある。今食べられるもので栄養をとり、偏食に目を向けるより、よく活動をしているか、よく遊んでいるか、お腹がすいているか、リラックスしているか、気持ちが満たされているかについて見た方が建設的だと伝えた。

#### 【園⑧保育】

1歳児はエプロン入れに写真が貼ってあったり、昨年度の4歳児が作った動物を使って遊ばれていたりしてとても良かった。

2歳児は仕切りがなくなっていたので、もう一度仕切りを作ると良いと伝えた。

0歳児は縦に長い保育室だが、ハイハイが思い切りできるとプラスに捉えることができる。つかまり立ちができるようにもしてみようという伝えた。参考写真として、他園の写真を見せて話をしたので、

次回が楽しみだ。

3歳以上児は子どもたちが主体的にできるようになってきた。

3歳児は保育室のコーナーができていて良い。生活習慣のところで気になるのが、待ち時間が長いこと。例えば給食の時に、全員がそろそろまで待つのではなく、「同じテーブルの4人がそろったら食べてもいいよ」というようにすると良い。待てるようになるにはしばらく時間がかかると思うので、少し柔軟に考えて、4,5歳児になって、全員でそろって食べられるように、3歳児では徐々に待てるようになれば良いと伝えた。

4歳児は、色々な素材を使って楽しく遊んでほしいということを先生が考えられていて良かった。

5歳児は、伝統的にされているデイキャンプでカレーの材料を考えるなどグループで話し合いができるようになってきたので、どんどん続けてほしいと思う。5歳になるとこのように自分たちでするので4歳児に話を文化として伝えていけたら良いと話した。

子どもたちが考えたことを全部ファイリングされて置いているなど、工夫されている。

#### 【園⑧特支】

全体の印象として、雰囲気良かった。先生方の感度が高く、気付きに敏感だと感じた。

発達についての話では、大体3歳から4歳頃に人から見られているということが分かってきて、期待感も感じ始める年頃のため天邪鬼になってしまう面もあるかもしれないと伝えた。また、子どもたちの中には、「片付け」は何をどのようにすることなのかが分かっていない子もいると思った。例えば、ままごとでは「この野菜をかごに入れるのを片付けっていうんだよ」というようなことをまとめて、「片付け」と表現されるということが、いずれ結びついてくると良いということを伝えた。

安心グッズ（心の杖）と呼ばれるものを持っている子は、どのような場面で本人が安心グッズを置いて活動できるのか見ていくと良いと伝えた。大きな安心グッズを持っている子には変化させて、すぐに小さなものへと変えなければと思わず、徐々に小さい物になれば良いという視点で見てほしいと伝えた。

事務局	<p><b>【園小接続内容】</b></p> <p>1 園以外全園行かせていただいた。これまで就学前教育のことが十分分かっておらず、全て勉強になった。</p> <p>先ほど委員の先生方が報告されたことも改めて、納得しているところ。7年間継続されていく中でこの委員会がしっかりと機能し、この体制を整えられているということも本当に素晴らしいと思う。現場の先生方も、委員の先生方を待ち構えられていて、保育内容、特別支援の観点で専門的に教えていただけるという安心感と信頼関係の中で、全ての園の質が向上し、そしてそのことが小学校につながっていくという体制が見えてきた。</p> <p>訪問させていただいて分かったことは、環境が大切だということと、園の先生方が環境をととても工夫されているということ。また手先や指先、手首を動かす手作り玩具が本当にたくさんあり、これは小学校で字を書く時につながっていると感じた。小学生で手首が硬いと感じる子もいるので、今園で意識されていることを継続していただきたいと思う。</p> <p>卵の実験は絵本からの活動であった。また絵本の読み聞かせなどからごっこ遊びにつながっているということも良いと思った。ドキュメンテーションも工夫されており、これは保護者への周知にもなると感じた。掲示する場所にも工夫が見られた。</p> <p>小学校での課題の1つがトイレの問題。小学校での実態を園にも理解していただき、進学後の生活を見通して必要な習慣付けをしていただくと、入学後の戸惑いの軽減につながるのではないかと思う。</p> <p>園は遊び心や好奇心をととても大切にされている。小・中学校でも、そこをもっと大切にすれば「自ら学ぶ」や、「主体的に学ぶ」という部分が伸びるのではと考える。またどうすれば「意欲を高められるか」というところで、子どもは本来意欲をたくさんもっていたかもしれないのに小学校に入学した途端、「この線から出てはいけません」のように、意欲を低下させてしまっているのではないかと反省する。こども園を視察しながら考え、学ばせていただいたことをまた今後の教育に返していけたらと思う。</p> <p>訪問して重要だなと感じたことが3つある。</p> <p>1つ目は、環境の大切さだ。遊ぶ道具1つとっても環境になるので、部屋に色々な仕掛けをしていくことが、好奇心や意欲を引き出</p>
-----	--

	<p>すことへつながると思った。ただ、発達を理解がとても重要になると思った。環境設定は小学校でも大切になってくる。「発達」を教育に関わる者たちがどれだけ理解しているか、とても重要になってくると思う。</p> <p>2つ目は「体を使って」というところだ。訪問した時に、子どもたちが体をたくさん動かして遊んでいて、「集合」と言われなくても、体を動かしながら徐々に集まっていた。楽しくダンスをする中で気が付いたら皆集まっていた。また、実際に触ってみたり、見てみたりということは大事な経験で、その経験をたくさん持っている子どもたちは小学校に入ってきたときに生活科の学習などでとても良い発見をするなど、つながっていくと思う。</p> <p>3つ目は、自分で決定する場、自己選択する場が多くあったところだ。2歳児で「これをします！」ではなく「どっちがしたい？」と聞く姿を見て、素晴らしいと思った。一人の人間として決定する権利を認めながら、経験を積むということはとても大事だと思う。5歳児になると保育の中でよく表れていて「〇〇します」ではなく「どうしたいの？」「どう考えているの？」と促され、自分たちで考えたことを実現させたり、自分たちで考えたことを判断して決定したりする経験を積んでいく様子が見られた。今、学校教育の中でも、自己判断、自己決定、それを選択する場が学習の場で重要になってきている。そういうことを準備できると良いと思った。</p> <p>また、園の方向性として大事にするところや育てていきたいところを、共通理解することがとても大事だと思う。小・中学校でも大事なことではあるので、地域の中でどのように子どもたちを育てていきたいのかという方向性も大事だと考えた。</p>
委員長	4 第2回視察訪問（特別支援について）
事務局	資料3「後期スケジュール（日程追加）」について 資料4「特別支援資料様式（案）（変更点）」 説明、確認、了承
委員長	5 今年度事業の評価報告について
事務局	事務局説明

	<p>資料5「令和7年度西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会 報告書(案)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育内容、特支、園小の記入について</li> <li>・項目2～9の記入について</li> <li>・公表までの流れについて</li> </ul>
委員長	園小の部分と、特別支援の部分の報告書につきまして意見を願いたい。
委員	園小の連携については、全体で書かせていただきたい。
委員長	では全園共通でお願いします。
委員	特別支援についても、全体で書かせていただきたい。
委員長	では例年通り全体的に記入していただくということでお願いします。
事務局	<p>承知しました。</p> <p>報告書作成のスケジュールを決めさせていただいた。各委員からの報告書を2月13日に幼児教育センター必着で願いたい。文字等統一させていただき返却するので、その内容について了承を得られたら、3月中に各園に報告書送付したい。</p>
委員長	了。1点お願い。報告書提出の日程が近づいたら、令和6年度の報告書のデータをいただきたい。昨年度訪問された委員がどんなコメントをされていたか、見返すためにデータでいただきたい。
事務局	承知しました。担当園だけでよろしいか？
委員長	分割が難しいので全園分でよい。
事務局	承知しました。
委員長	6 令和8年度以降の公開保育・令和8年度視察訪問提出資料について

事務局	<p>事務局説明 資料6「令和8年度以降の公開保育について」</p> <p>委員会には直接関わりはないが報告させていただく。これまでの公開保育は、1年間に1園が2回実施していた。キャリアアップ研修を兼ねていたので、公開園に負担をかけていたところもある。ただこども園の先生が他園の保育を見て、自分の保育を見直す等の意味合いもあるので、是非続けたいと園長会でも伝えた。公開保育はした方が良いというのは皆さんのご意見。ある園の先生が1年に1園となると8年経ってまた自園に回ってくるので、8年空くのは長いと言われた。それを受け、1年に2園公開したらどうか、そして年1回実施にすれば負担も減るのではというところで決定した。令和8年度以降は、資料に記載の順で2園が年1回ずつ行い、日程は各園との調整になる。もし夏休み期間に実施する園があれば、小・中学校の先生方の参加も呼びかけていきたいと思っている。午後からは園内研修として、講師の大学の先生に残っていただいております。また振り返りやグループワークの中で小学校の先生や他園の先生と膝を突き合わせて話をする事ができればと考えている。何かヒントになるようなことがあれば教えていただきたい。</p>
委員長	では資料6につきまして先生方からご意見等願います。
委員	年2園公開するというのは良いと思う。午前中のみであれば負担も少ないだろう。夏休み期間中に公開してもらえれば良い。
委員	良いと思う。
委員	これで良いと思う。この公開保育は私が見に行くことも可能か。
事務局	可能です。
委員	良いと思う。
委員長	それではこの方向性で行くということで確認する。令和8年度に取り組んでみて振り返り、また検討していく必要があるかと思う

事務局	<p>が、大枠の方向性はこれで良い。</p> <p>事務局説明 資料7「令和8年度視察訪問提出資料について」</p> <p>来年度からの視察訪問提出資料について。前回の委員会で意見をいただき、そのことについて園長会に提案し了承を得ることができた。提案内容はドキュメンテーションが各園根付いているので、作られているドキュメンテーションを基に担任の先生方に、今の保育について語っていただくことで、委員の先生方に子どもたちの遊びの様子を読み取っていただけるのではということ、提出資料をドキュメンテーション、質問内容、もう1つは、「この1年間でどういう子どもたちを育てていきたいか」というようなクラス運営や子どもの育ちについての教師の願いを書いていたいただきたいと思っている。</p> <p>そして訪問実施後、助言内容や取組の方策等をまとめていただき質の向上につなげたいと思う。管理職等には、要覧や、園だより、クラスだより等、園で保護者向けに出されている通信を提出いただくことと、自己評価の項目2～9については県のチェックリスト等で、重複する項目があるようなのでその部分を省き記入いただきたいと思っている。</p> <p>特別支援については、従来通りの提出資料でいきたいと思っている。令和8年度実施してみて、検討・改善し9年度につなげていきたいと思う。</p>
委員長	<p>資料7につきまして何かご意見等ありますか。</p> <p>各クラスのドキュメンテーションは、どの時期の物を準備されるか。視察訪問の1週間前や2週間前ぐらいの物なのか、1ヶ月前の物なのか。できれば近い時期の物の方が、当日訪問した時に、クラスの状態が分かりやすい。現場の先生方のご意見等を聞いて検討していただきたい。</p>
委員長	7 その他について
事務局	事務局説明

	<p>参考資料①「令和6年度西脇市認定こども園保護者アンケート集計結果について」</p> <p>参考資料②「幼児教育センター通信『つなぐんVol. 5, 6』」</p> <p>参考資料1点目はホームページにも挙げている物。令和6年度からオンラインツールを利用したアンケートに変更したところ、回収率が上がらないというところがあったが、前回の委員会において委員長より「どういう目的でこのアンケートをとるのか」を考え、令和7年度のやり方を考えたらどうかと助言いただいていた。以前は保護者アンケートをとられていない園もあり、保護者の声を教育委員会が把握できていなかった。一部の声でもよいので知りたいという目的でこのアンケートを始めた。そのため、センターとしては100%回収できなくても保護者からの声が上がりにやすい方が良いと思っているので、本年度もオンラインツールを利用したい。ただ、園によっては100%回収したいという意見もあるので、園の意向も踏まえ、紙媒体とオンラインツールの2パターン用意し園に選択していただこうと思う。</p> <p>参考資料2点目。こちらは小学校の先生方全員とこども園に送っている。西脇市の園小接続の取組や経緯、また相互参観でのアプローチカリキュラムとスタートカリキュラムのつながりが見えた部分にスポットを当てて作成した。直接園小接続に関わっておられる先生方だけでなく、各学年の先生方等全員に分かってほしいという思いがある、9月には相互参観で小学校の先生方が園に来られた際の物も作成したい。また保護者向けの物も作成していきたい。</p>
委員長	<p>以上のことにつきまして何か感想、意見はあるか。</p>
委員	<p>つなぐんVol. 6が分かりやすくて良い。また小学校も随分変わってきた。4月の研修の効果があったのだろう。それが一番嬉しい。</p> <p>通信に「10の姿」のピクトグラムを載せておられるのは良いと思う。ただ情報量が多い。保護者向けを考えられる時はもう少しシンプルの方が良いと思う。</p>
委員長	<p>以上で議題が全て終了した。みなさんには円滑な会議の運営に協力いただき感謝する。進行を事務局にお返しする。</p>

事務局	8 次回開催予定  次回の会議は、令和8年1月21日（水）午前10時から市役所大会議室で予定している。  閉会の前に教育創造部長よりご挨拶申し上げます。
部長	あいさつ
事務局	9 閉会 以上をもって、本日の会議を終了する。